



## 2021年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月13日

上場会社名 M I Tホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4016 URL https://mit-hd.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営推進センター長 (氏名) 三方 英治 TEL 043-239-7252  
 四半期報告書提出予定日 2021年7月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年11月期第2四半期の連結業績（2020年12月1日～2021年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第2四半期	1,896	—	18	—	16	—	9	—
2020年11月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年11月期第2四半期 9百万円 (—%) 2020年11月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第2四半期	4.79	4.55
2020年11月期第2四半期	—	—

(注) 当社は2020年11月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年11月期第2四半期の数値及び2021年11月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第2四半期	1,587	554	34.9
2020年11月期	1,494	550	36.9

(参考) 自己資本 2021年11月期第2四半期 554百万円 2020年11月期 550百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2021年11月期	—	0.00	—	—	—
2021年11月期 (予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年11月期の連結業績予想（2020年12月1日～2021年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,150	7.8	144	6.1	140	2.3	87	10.0	43.15

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年11月期2Q	2,057,800株	2020年11月期	1,991,600株
② 期末自己株式数	2021年11月期2Q	-株	2020年11月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年11月期2Q	2,037,984株	2020年11月期2Q	1,741,600株

（注）当社は、2020年8月6日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、当社グループは、前第2四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っていません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2020年12月1日から2021年5月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の中、緊急事態宣言の再発令や延長により、感染拡大の収束時期は未だ見通しが立たない状況が続いており、ワクチン接種が開始したことによる経済回復が期待されつつも、依然として先行き不透明な状況となっております。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、デジタルトランスフォーメーション（DX）の取り組みが加速しており、あらゆる産業において、企業の競争力強化、業務プロセスの再構築、ビジネスモデルの変革に向けたIT需要は拡大していくことが見込まれております。

このような環境の下、当社グループは、コロナ禍における時差通勤・リモートワークの実施、WEB会議システムを活用した商談等により、感染拡大防止に努めつつ事業活動を安定的に継続してまいりました。

システムインテグレーションサービスにおいては、技術者不足解消に向けた中途未経験者の通年採用と技術者教育制度による人材育成及び、パートナー企業との連携強化に努め、請負ビジネスの拡大と新規エンドユーザの開拓を積極的に推進しております。また、ソリューションサービスにおいては、CADソリューションサービス及びデジタルマーケティングサービスにおける保守サポート収入、クラウドサービスの利用料収入により、高い利益率と安定したストックビジネスを確立するとともに、新たな製品の研究開発、新サービスの提供に取り組み、更なる収益力向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,896,054千円、営業利益18,195千円、経常利益16,631千円、親会社株主に帰属する四半期純利益9,759千円となりました。

なお、当社グループは、情報サービス事業の単一セグメントであります。主要サービス別の経営成績を以下に示します。

#### (システムインテグレーションサービス)

システムインテグレーションサービスは、公共・通信・金融・エネルギー等の分野を中心に、社会インフラ系基幹システム開発及び、ネットワーク基盤構築の受注を柱にしており、安定した受注の確保を実現しています。当第2四半期連結累計期間は、主要顧客からの受注は堅調に推移している中、通信・金融分野の受注が減少した一方、公共システム運用案件及びエネルギー関連案件の受注が増加し、またエンドユーザとの直接取引となるDX支援案件が拡大したことにより、売上高は1,727,465千円となりました。

#### (ソリューションサービス)

##### a. デジタルマーケティングサービス

デジタルマーケティングサービスは、誰でも簡単にデジタルブックが制作・配信できる「Wisebook」のサービスを提供しております。Wisebookは近年のデジタル化に伴う紙媒体の電子化サービスとして、電子書籍化サービス、社内文書管理サービス、教育現場での電子教科書への対応並びに閲覧データ解析によるマーケティングツールとしても高い評価を受けております。当第2四半期連結累計期間は、サブスクリプション型クラウドサービス「WisebookONE」を4月20日にリリースし、社内文書のデジタル化を今すぐ始められるDX支援サービスとして、新たなユーザの獲得に努めてまいりました。その結果、デジタルマーケティングサービスの売上高は40,933千円となりました。

##### b. CADソリューションサービス

CADソリューションサービスは、高機能で幅広い互換性を持つ2次元汎用CADである「DynaCAD」シリーズの開発・販売や自治体の電子化に伴うコンサルティング、紙図面の電子化サービスを行っております。当第2四半期連結累計期間は、自治体向け3次元CADの「DynaCAD CUBE（キューブ）Ver1.0」を3月30日にリリースし、自治体のCIM/i-Construction推進支援と受注拡大に努めてまいりました。その結果、CADソリューションサービスの売上高は93,315千円となりました。

##### c. 認証ソリューションサービス

認証ソリューションサービスは、3D顔認証を始めとした生体認証機器の販売及びモバイル認証や非接触型ICカード入退管理システム、勤怠管理システムとの連携などによる総合的認証ソリューションサービスを提供しております。当第2四半期連結累計期間は、コロナ禍における感染拡大防止対策のための検温機能付顔認証システム関連の受注が順調に拡大し、売上高は29,066千円となりました。

##### d. その他ソリューションサービス

上記の他、ドローン操縦技術者講習等を実施するドローンソリューションサービスなどを行っております。当第2四半期連結累計期間の売上高は5,272千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,587,033千円となり、前連結会計年度末と比べて92,688千円の増加となりました。流動資産は1,223,782千円となり、前連結会計年度末と比べて83,093千円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加286,838千円、受取手形及び売掛金の減少215,484千円によるものであります。固定資産は357,413千円となり、前連結会計年度末と比べて6,460千円の増加となりました。これは主に有形固定資産の増加12,578千円、のれんの減少7,075千円によるものであります。

流動負債は535,118千円となり、前連結会計年度末と比べて179,942千円の減少となりました。これは主に短期借入金の減少150,000千円、未払費用の減少75,752千円、賞与引当金の増加48,984千円によるものであります。固定負債は497,870千円となり、前連結会計年度末と比べて269,540千円の増加となりました。これは社債の増加215,000千円、長期借入金の増加54,540千円によるものであります。

純資産は554,044千円となり、前連結会計年度末と比べて3,091千円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益9,759千円の計上、新株予約権の行使による新株発行に伴う資本金及び資本剰余金の増加13,240千円及び配当金の支払いによる利益剰余金の減少13,941千円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ286,838千円増加し、633,290千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は171,726千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上額16,631千円、減価償却費の計上額30,097千円及び売上債権の減少額215,467千円による資金増加と、未払費用の減少額75,689千円、法人税等の支払額20,545千円の資金減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は46,967千円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出32,357千円、有形固定資産の取得による支出14,903千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は162,079千円となりました。これは主に、社債の発行による収入295,973千円の資金増加と、短期借入金の返済による支出150,000千円の資金減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年1月13日付の「2020年11月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	386,566	673,405
受取手形及び売掛金	723,479	507,994
商品	7,424	8,875
その他	23,932	33,921
貸倒引当金	△714	△414
流動資産合計	1,140,688	1,223,782
固定資産		
有形固定資産	22,421	34,999
無形固定資産		
ソフトウェア	37,823	120,867
ソフトウェア仮勘定	101,141	22,682
のれん	37,051	29,975
その他	180	180
無形固定資産合計	176,196	173,705
投資その他の資産	152,335	148,708
固定資産合計	350,952	357,413
繰延資産	2,703	5,837
資産合計	1,494,344	1,587,033
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	165,157	157,578
短期借入金	150,000	—
1年内返済予定の長期借入金	44,272	64,264
1年内償還予定の社債	102,000	135,000
未払費用	109,338	33,586
未払法人税等	22,274	5,933
賞与引当金	—	48,984
その他	122,018	89,771
流動負債合計	715,060	535,118
固定負債		
社債	130,000	345,000
長期借入金	98,330	152,870
固定負債合計	228,330	497,870
負債合計	943,390	1,032,988
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	279,670	286,290
新株式申込証拠金	6,080	200
資本剰余金	94,550	101,170
利益剰余金	167,813	163,631
株主資本合計	548,113	551,291
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,840	2,753
その他の包括利益累計額合計	2,840	2,753
純資産合計	550,953	554,044
負債純資産合計	1,494,344	1,587,033

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
売上高	1,896,054
売上原価	1,505,464
売上総利益	390,589
販売費及び一般管理費	372,394
営業利益	18,195
営業外収益	
受取利息	6
受取配当金	29
解約返戻金	1,225
助成金収入	30
その他	270
営業外収益合計	1,561
営業外費用	
支払利息	2,116
社債発行費償却	892
支払手数料	113
その他	3
営業外費用合計	3,125
経常利益	16,631
税金等調整前四半期純利益	16,631
法人税、住民税及び事業税	4,205
法人税等調整額	2,667
法人税等合計	6,872
四半期純利益	9,759
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,759

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	9,759
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△87
その他の包括利益合計	△87
四半期包括利益	9,672
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	9,672
非支配株主に係る四半期包括利益	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	16,631
減価償却費	30,097
のれん償却額	7,075
社債発行費償却	892
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△282
賞与引当金の増減額(△は減少)	48,984
受取利息及び受取配当金	△35
支払利息	1,751
社債利息	364
売上債権の増減額(△は増加)	215,467
未払消費税等の増減額(△は減少)	△32,991
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,267
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,579
未払費用の増減額(△は減少)	△75,689
その他	△9,068
<b>小計</b>	<b>194,350</b>
利息及び配当金の受取額	35
利息の支払額	△2,114
法人税等の支払額	△20,545
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>171,726</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期貸付金の回収による収入	176
有形固定資産の取得による支出	△14,903
無形固定資産の取得による支出	△32,357
その他投資活動による収入	117
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△46,967</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の増減額(△は減少)	△150,000
長期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△25,468
社債の発行による収入	295,973
社債の償還による支出	△52,000
配当金の支払額	△13,785
株式の発行による収入	7,160
新株式申込証拠金の払込による収入	200
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>162,079</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	286,838
現金及び現金同等物の期首残高	346,452
現金及び現金同等物の四半期末残高	633,290

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 2020年12月1日 至 2021年5月31日）

当社グループは、情報サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。